

# 理科：人のたんじょう ～生命のつながり・4～

平成 29 年度 射水市立東明小学校第 5 学年

## 1 単元のねらい

- ・メダカの卵を観察した経験をもとに、人の誕生について資料を活用して調べ、生命の連続性についての見方や考え方を育てる。人は受精した卵が母体内で養分を得ながら成長して生まれることを捉える。
- ・人の母体内での成長を、資料を活用して計画的に追究する能力を育てるとともに、生命誕生のすばらしさを感じ取らせ、生命を尊重する態度を育てる。
- ・5年生で生命のつながりについて学習してきたことをまとめ、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性についての見方や考え方を育てる。

## 2 主な学習の流れ

- ・人の受精卵は、母親の体内のどこで、どのように育っていくのか、調べ方を考えて調べよう
- ・調べたことをもとに話し合おう
- ・胎児は母親の胎内で育つための養分をどのように得ているのか、調べたことをもとに話し合おう
- ・他の動物の誕生の仕方についても調べて話し合おう
- ・これまでに調べたことをもとに、ふりかえりをしよう

## 3 振り返りの感想から

○あんな小さな受精卵から今はこんなに大きくなって、人間はすごい生き物だと思いました。パパやママにとっても感謝です。

○自分のへその緒をお母さんに見せてもらったことがあります。今も大事に取ってありました。人の誕生は、とてもすばらしいなと感じました。

○人の命は、0.1mm の受精卵から始まっていることが分かって、びっくりしました。お父さんとお母さんのおかげで私は生まれてきたので両親に感謝したいなと思いました。人の命はつながっていることが分かりました。

○私たちが生まれてこれたのも奇跡だと思いました。そして、産んでくれた母にお礼を言いたかったです。

○270 日の間、お母さんは大切にして生まれてくるのを待っていてくれたんだなと思いました。私は、女の子なので、いつかその気持ちが分かるので、楽しみです。

○お母さんの子宮の中の赤ちゃんは思っていたより成長していて、お母さんはその成長を見ることは嬉しく、楽しいだろうなと思いました。私は、赤ちゃんが子宮の中で成長している姿を見て、生命力ってすごいなと改めて感じました。

○私も昔は受精卵で 0.1mm だったのに、へその緒や胎盤を通してお母さんから養分をもらっていたんだなと思いました。

○ぼくは、この勉強を通して、生まれてくるのが、それだけでとてもすごいことなんだと初めて思いました。



〈赤ちゃんを抱く体験〉